中山間地域と都市部がつながるフェスタ ひろしま

13時～ オープニングアクト
三次太鼓育成会



三次きんさい祭のシンボルとして親しまれる「三次どんちゃん」。軽快な太鼓や鉦の音色に合わせた躍動感あふれる演舞が魅力です。今回は三次太鼓育成会が登場し、熱いパフォーマンスでフェスタの開幕を彩ります!

13時10分～ 地域の宝を紹介するプレゼンテーション

豊かな自然や食、歴史・文化、景観など、各市町の次代に残したい"わがまちの宝"について、県内の市長・町長等のみなさんに発表していただきます。





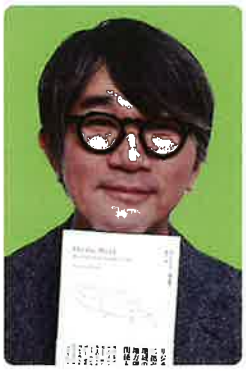
14時10分～ スペシャルトークショー「未来を育む『人づくり』と、地域とつながる『多様な関わり方』」

都市にいながら地域の困りごとを共に解決し、未来を共創する「関係人口」の可能性を探るトークセッションです。
地域を舞台に挑戦する人材をどのように育て、都市と中山間地域を越えて人々が行き交う仕組みをいかに構築していくのか、多様な関わり方が生み出す地域の未来像について語り合っていただきます。



福岡ソフトバンクホークス元監督
工藤公康

元福岡ソフトバンクホークス監督。現役時代に通算224勝を挙げ野球殿堂入り。2022年4月より筑波大学大学院博士課程に進学、スポーツ医学博士取得に向け研究や検診活動を行う。現在は神奈川県に住みながら山梨県に畑を持ち「関係人口」として通っている。また、先人たちから受け継がれてきた知恵や文化、考え方などを次代の若者たちへ引き継ぐ活動にも情熱を注ぐ。



ソトコト編集長
指出一正

一般社団法人日本関係人口協会代表理事。『ソトコト』編集長。1969年群馬県生まれ。上智大学法学部国際関係法学科卒業。雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現職。島根県「しまコトアカデミー」メイン講師、兵庫県「ひょうご関係人口創出拡大・絆プロジェクト」総合監修、など、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房、総務省、国土交通省、農林水産省、環境省などの国の委員も務める。



広島県知事
横田美香

15時～ 中山間地域における関係人口創出の取組事例紹介

～ 地域の困りごとをチカラに変える、新しいつながり方を学ぶ～

人口減少や高齢化に伴い、地域づくりの担い手不足という課題が深刻化しています。そこで地域づくり実践者であるお二人に、地域との関わり方や取り組みについてお話を伺い、これからの地域づくりについて一緒に考える機会とします。



Teto teto **延原真由子**（三次市）

三次市川西地区の茶畑で茶の木の整備

収穫を終えた茶畑で、次の新茶に向けた枝葉の収集やお手入れをお手伝いする企画。普段は見られないお茶づくりの裏側に触れる取り組みを実施。



地域おこし協力隊 **守殿さやか**（庄原市）

柿もぐモグモグクラブ!～干し柿作り de 獣害対策～

高齢化などで収穫できず残された柿は、実は野生動物を引き寄せる大きな原因に。みんなでワイワイ柿をもぎ、昔ながらの手仕事で「干し柿」作りに挑戦する取り組みを実施。

15時50分～ クロージングアクト
きりり中学生吹奏楽クラブ



クロージングを彩るのは、三次市民ホールきりりを拠点として活動する「きりり中学生吹奏楽クラブ」。地域の宝を次世代へ引き継ぐ想いを胸に、若いエネルギーに満ちた音色を届けます。未来へ響く温かな演奏とともに、新しい明日への希望を乗せてフィナーレを迎えます。